

# 大阪中之島美術館



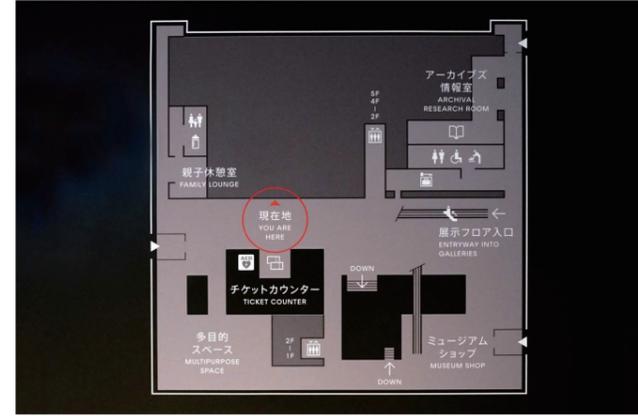
外観

外観の印象は「黒いヴォリューム」。マッサなブラックキューブの建物は、地域冷暖房システムの導入、高断熱外壁による空調負荷低減、雨水を利用した外構植栽への散水システムなど、省CO2に配慮している。



内観(パッサージュ)

印象的な「黒いヴォリューム」は、建物内に立体的に計画された「パッサージュ(遊歩空間)」によってくり抜かれ、展示室はもちろんのこと、その大きな空間も市民が美術と触れ合うためにデザインされている。



2F案内図

2Fには、来館者用トイレのほかに、靴をぬいで休憩できる親子休憩室を配置。親子休憩室には授乳室や親子トイレも設置している。



2Fトイレ入口

来館者が利用しやすく、美術展の合間に立ち寄っても鑑賞中の世界を阻害することのない、清潔感のあるトイレ空間を目指した。シンプルでわかりやすいデザインのサインを掲示している。



2Fロッカー

1F、2Fのトイレ入口の隣に、ロッカーを配置。手荷物をロッカーに預けた後に美術鑑賞やトイレ利用がしやすいよう配慮されている。



2F女性トイレ  
洗面コーナー

トイレの内装は、「黒いヴォリューム」から一転して白を基調とした清潔なインテリア。洗面は、シンプルなデザインの壁掛ハイバック洗面器を採用。さらに自動水栓と自動水石けん供給栓、電気温水器を設置している。



2F女性トイレ  
スタイリングコーナー

洗面コーナーの混雑緩和や身だしなみに配慮して、スタイリングコーナーを設置。白の空間に溶け込みながら、隣人の視線が気にならないように個別鏡を採用している。



2F女性トイレ  
大便器ブース

衛生面に配慮して、便器のボウル面とノズルをきれいに保つことのできる「きれい除菌水」機能を備えたウォシュレットアプリコットPを採用している。ベビーチェアも設置されている。



2F男性トイレ  
小便器コーナー

清掃性や節水性に優れた「きれい除菌水」搭載の壁掛型自動洗浄小便器を採用。また、小便器の間には、手荷物配慮としてフックを取り付けている。



2F男性トイレ  
大便器ブース

大便器は床の清掃性がよく、連続洗浄可能な壁掛大便器セット・フラッシュタンク式を採用。また、性の多様性などに配慮して、男女トイレ共にチャームボックス(汚物入れ)を設置している。



2Fバリアフリートイレ

車いす使用者やお子様連れ、オストメイトなどに対応できる設備を完備。また、1Fと2F、4Fと5Fのバリアフリートイレは、さまざまな身体状況などによって選べるよう、それぞれ左右勝手違いで設置している。



2Fおむつ替えコーナー

バリアフリートイレの機能分散に配慮して、バリアフリートイレとは別におむつ替えコーナーを設置。落ち着いて使用することができるよう、鍵付きとなっている。

# 大阪中之島美術館



2F親子休憩室

お子様連れの方がゆっくと休憩ができる親子休憩室。授乳室や親子トイレも完備されており、子育て世代にも安心して来館してもらえる環境を整えている。



2F親子休憩室  
親子トイレ

お子様連れに配慮した親子トイレ。幼児用器具やおむつ替えコーナーだけでなく、大人が使用できる大便器ブースを1ブース設けている。



4F男性トイレ

4、5Fは身繕いに配慮して、男性トイレにもスタイリングコーナーを設置。また、男女トイレ共に間仕切り壁を設けてプライバシーに配慮した、おむつ替えコーナーを完備している。



2F親子休憩室  
授乳室

乳幼児連れに配慮して、授乳室を3ブース設置。各ブースにはソファと荷物置き棚を完備している。



2F親子休憩室  
親子トイレ

大人が使用できる大便器ブースには、ベビーチェアが設置され、小さなお子様連れでも目を離すことなく安心して使用することができる。



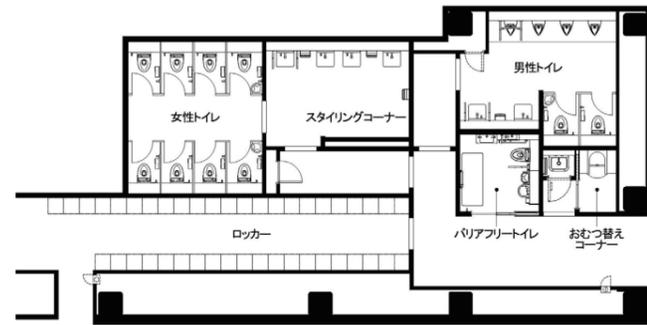
1F楽屋 シャワー室

1Fには、最大300名収容可能なホールがあり、ホールの楽屋近くには、シャワー室も完備している。



1F職員トイレ

バリアフリートイレ前の通路スペースは、車いすで回転できるよう2000mm角以上を確保。また来館者用トイレ同様、性の多様性などに配慮して、男女トイレ共にチャームボックスを設置している。洗面コーナーには、水じまいのよい壁掛ハイバック洗面器を採用し、自動水栓と自動水石けん供給栓、温かいお湯が使えるよう電気温水器も設置している。バリアフリートイレは左右勝手違いのバリエーションを完備。また、お子様連れで休憩ができる親子休憩室には、授乳室や親子トイレを配置するなど、さまざまな人が使いやすいトイレづくりが実現されている。



2Fトイレ 図面

トイレ入口の隣に、ロッカーを配置。手荷物をロッカーに預けた後、美術鑑賞やトイレに行きやすいレイアウトとなっている。



2F親子休憩室 図面

お子様連れの方がゆっくと休憩ができる親子休憩室。授乳室や親子トイレも完備されており、子育て世代にも安心して来館してもらえる環境を整えている。

## 水まわりの特長

### 建物の特徴

堂島川、土佐堀川というふたつの河川に挟まれた大阪中之島に位置する新たな美的ランドマーク「大阪中之島美術館」。佐伯祐三や吉原治良に代表される大阪ゆかりの作家の作品をはじめ、国内外第一級のコレクションを所蔵する芸術拠点であり、構想から開業まで実に40年の歳月を要し、2022(令和4)年2月に開館した。設計コンセプトは、「さまざまな人と活動が交錯する都市のような美術館」。だれもが気軽に訪れ、学び、くつろぎ、楽しみ、触発され、そして発信する、いわば「都市空間」のような美術館。建物には「正面」をつくらず、複数のエントランスで、全方向からの人の流れを受け入れる計画とし、1、2Fは都市に開いて、美術展を訪れる人以外も普段から利用できるような公共性を提供している。

### 水まわりの特長

トイレ分科会を発足し、計画段階から検討・検証を重ねた。TOTOテクニカルセンター大阪による図面提案も行い、適切な器具選定やさまざまな配慮が活かされている。混雑緩和に配慮して、大便器は連続洗浄が可能な壁掛大便器セット・フラッシュタンク式を採用。さらに、性の多様性などに配慮して男女トイレ共にチャームボックスを設置。洗面コーナーには、水じまいのよい壁掛ハイバック洗面器を採用し、自動水栓と自動水石けん供給栓、温かいお湯が使えるよう電気温水器も設置している。バリアフリートイレは左右勝手違いのバリエーションを完備。また、お子様連れで休憩ができる親子休憩室には、授乳室や親子トイレを配置するなど、さまざまな人が使いやすいトイレづくりが実現されている。

## 建築概要

名称	大阪中之島美術館
所在地	大阪府大阪市北区中之島4-3-1
施主	大阪市
設計	大阪市都市整備局企画部公共建築課 遠藤克彦建築研究所
施工	建築 銭高・大鉄・藤木特定建設工事共同企業体 機械 菱和・西原特定建設工事共同企業体 電気 浅海電気・三宝電機特定建設工事共同企業体

竣工年月	2021年6月
敷地面積	約12,871㎡
建築面積	約6,681㎡
延床面積	約20,012㎡
構造・階数	鉄骨造・地上5階

### おもなTOTO使用機器

壁掛大便器セット・フラッシュタンク式:UAXC3C
ウォシュレット アプリコットP(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5830AUY*系
スベア付紙巻器:YH150 R/L S
チャームボックス(汚物入れ):YKB102
自動洗浄小便器:UFS900JCS
壁掛ハイバック洗面器:LSG135EA/B、LSG125EB
自動水栓一体形電気温水器:REAH03B11
自動水石けん供給栓:TLK06S04J
クリンドライ(ハンドドライヤー):TYC420W
コンパクト・バリアフリートイレバック:UADBK61L1A1ADD2WA
幼児用大便器:CS300B
幼児用小便器:U310GY
I型手すり:T115C6
シャワールーム:JSV0812系